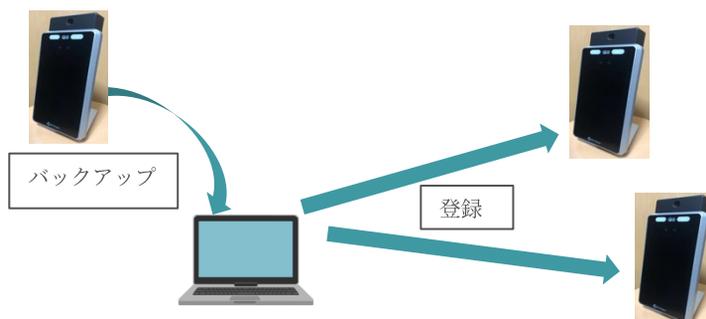


EG-Keeper設定と画像のバックアップツールは、下記のような時に使用できます。

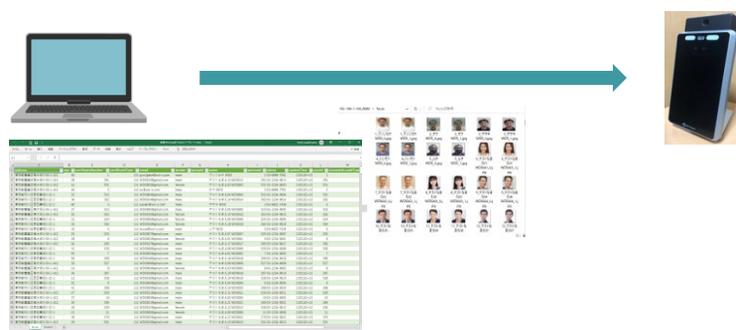
★ 設定データを間違えて消してしまった時に、すぐに元に戻したい。
戻せるようにバックアップを取っておきたい。



★ 他のEG-Keeperにも同じ設定がしたい。同じ顔写真を登録したい。



★ 顔写真を一括で登録したい。



-- 目次 --

1.	EG-Keeper設定と画像のバックアップツールダウンロード	P2
2.	初回実行時の注意点	P2
3.	バックアップ	P3
4.	登録	P4
5.	バックアップツール応用	
5-1.	顔写真の一括登録	P5
5-2.	他のEG-Keeperへ登録	P6
補足	Data/Facesフォルダー faces.csvファイルについて	P7
	CSVファイルについて	P8-9

[基本的な使用方法は、こちらの動画でも、御覧いただけます。](#)

1. EG-Keeper設定と画像のバックアップツールのダウンロード

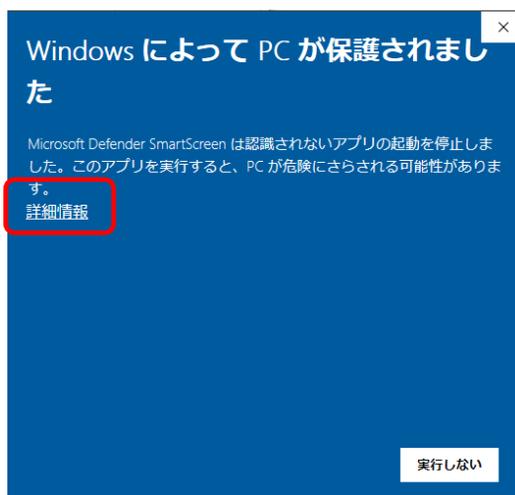
1-1. 下記のリンクをクリックし、『egkeeper_bkup.zip』をダウンロードします。

[EG-Keeper設定と画像のバックアップツール ダウンロードは、こちらより](#)

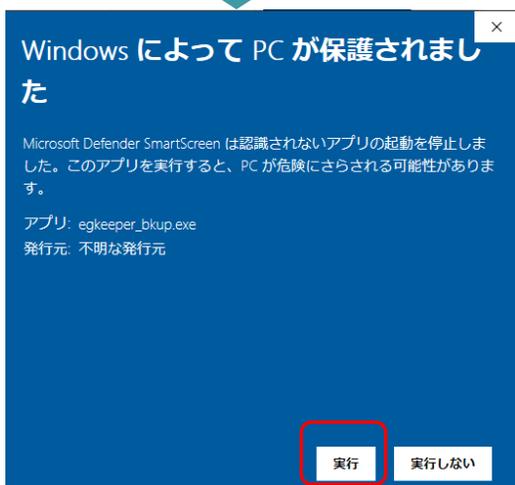
1-2. 『egkeeper_bkup.zip』を開き、『egkeeper_bkup.exe』ファイルをフォルダーに保存します。作成していただくフォルダーは、デスクトップではなく、Cドライブに直接作成してください。

2. 『egkeeper_bkup.exe』を実行します。。

初回『egkeeper_bkup.exe』を実行した時に、Windowsの警告が表示されます。下記の対応を行います。



詳細情報をクリック



実行をクリック

3. バックアップ

EG-Keeper 登録・設定情報バックアップツール

設定 ヘルプ

EG-Keeper IPアドレス

※例：192.168.1.100:8080

HTTP API AUTH ユーザ名

パスワード

顔情報登録 (CSV)

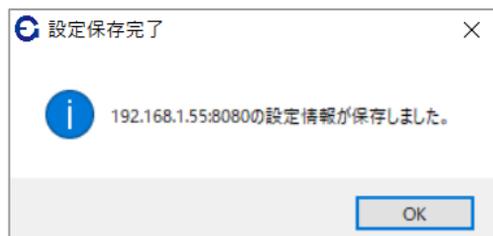
設定反映

設定項目を入力してください

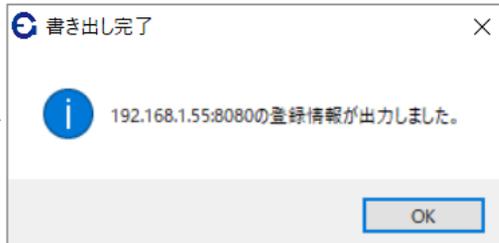
バックアップをしたいEG-Keeperの
IPアドレス + “:8080”を入力

ユーザ名
パスワードを入力

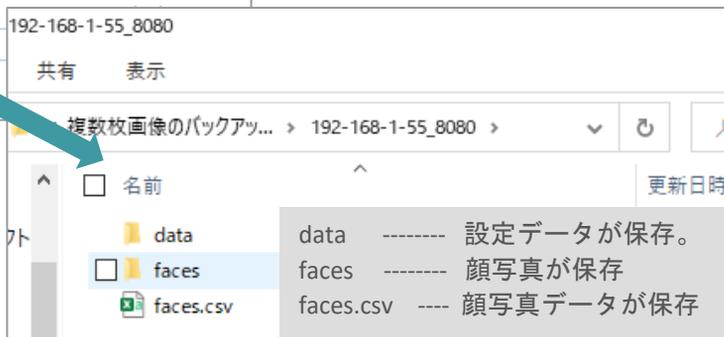
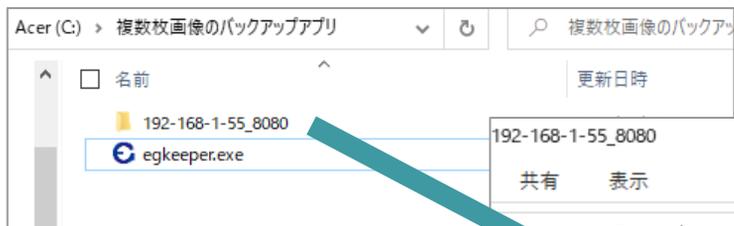
設定保存



顔保存

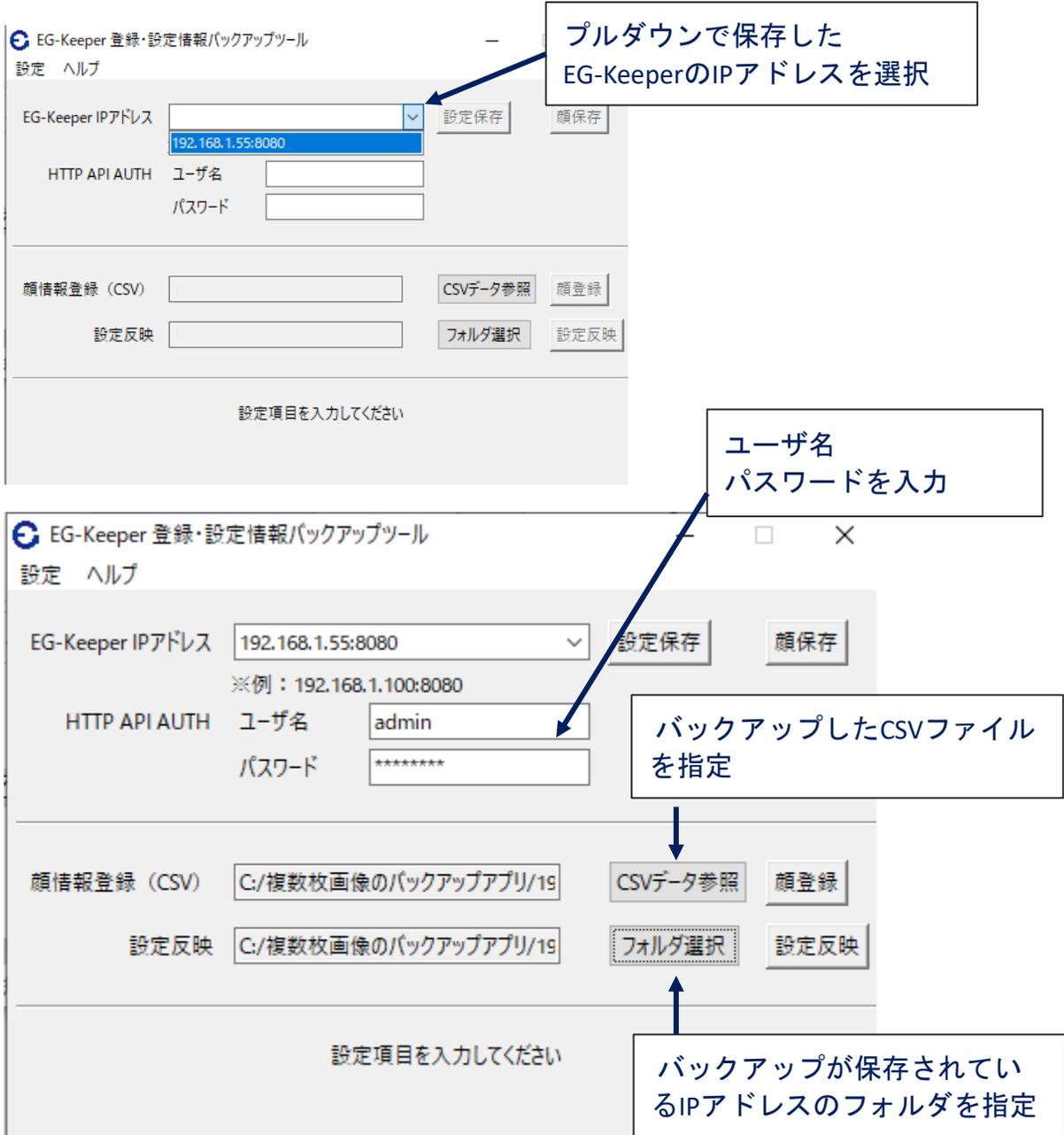


IPアドレスのフォルダが作成される



4. 登録

保存した設定・顔データの登録を行います。



EG-Keeper 登録・設定情報バックアップツール

設定 ヘルプ

EG-Keeper IPアドレス

HTTP API AUTH ユーザ名 パスワード

顔情報登録 (CSV)

設定反映

設定項目を入力してください

ユーザ名
パスワードを入力

EG-Keeper 登録・設定情報バックアップツール

設定 ヘルプ

EG-Keeper IPアドレス

※例：192.168.1.100:8080

HTTP API AUTH ユーザ名 パスワード

バックアップしたCSVファイルを指定

顔情報登録 (CSV)

設定反映

バックアップが保存されているIPアドレスのフォルダを指定

設定項目を入力してください

顔登録した場合

192.168.1.55:8080にCSVデータから顔登録完了しました。

設定反映した場合

 192.168.1.55:8080の設定しました。

5. バックアップツールの応用

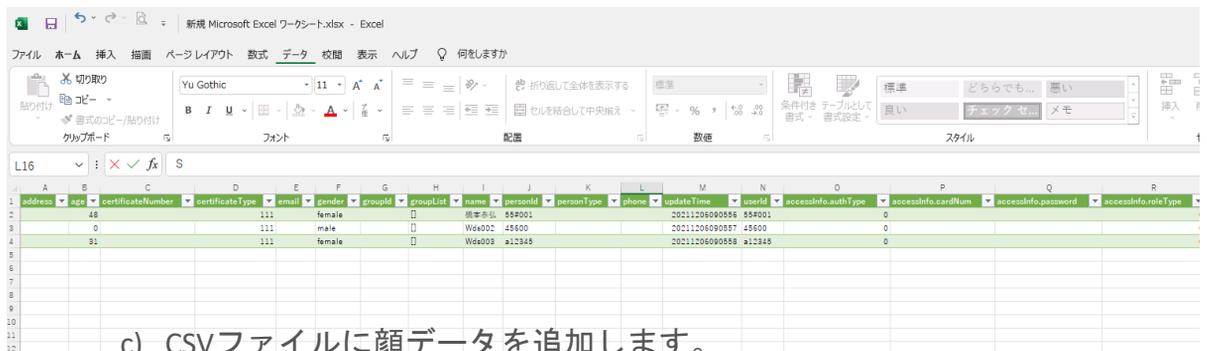
5-1. 顔写真の一括登録

a) EG-Keeperにブラウザでログインします。

『設定』→『登録データ』→『ユーザ設定』で、1~2件を顔写真を登録します。



b) バックアップツールを使用して、顔保存を行います。
バックアップされたCSVファイルをオープンします。

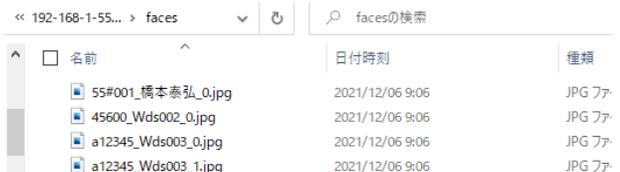


c) CSVファイルに顔データを追加します。
必須入力項目は、userid と personid と name です。
userid = personid

d) facesフォルダに顔写真のファイルを追加します。
ファイル名は、下記のファイル名の形式で保存してください
1つの写真データに対して、顔写真は、3枚です。

ファイル名: "userid" + "_" + "name" + "_" + "0 or 1 or 2"

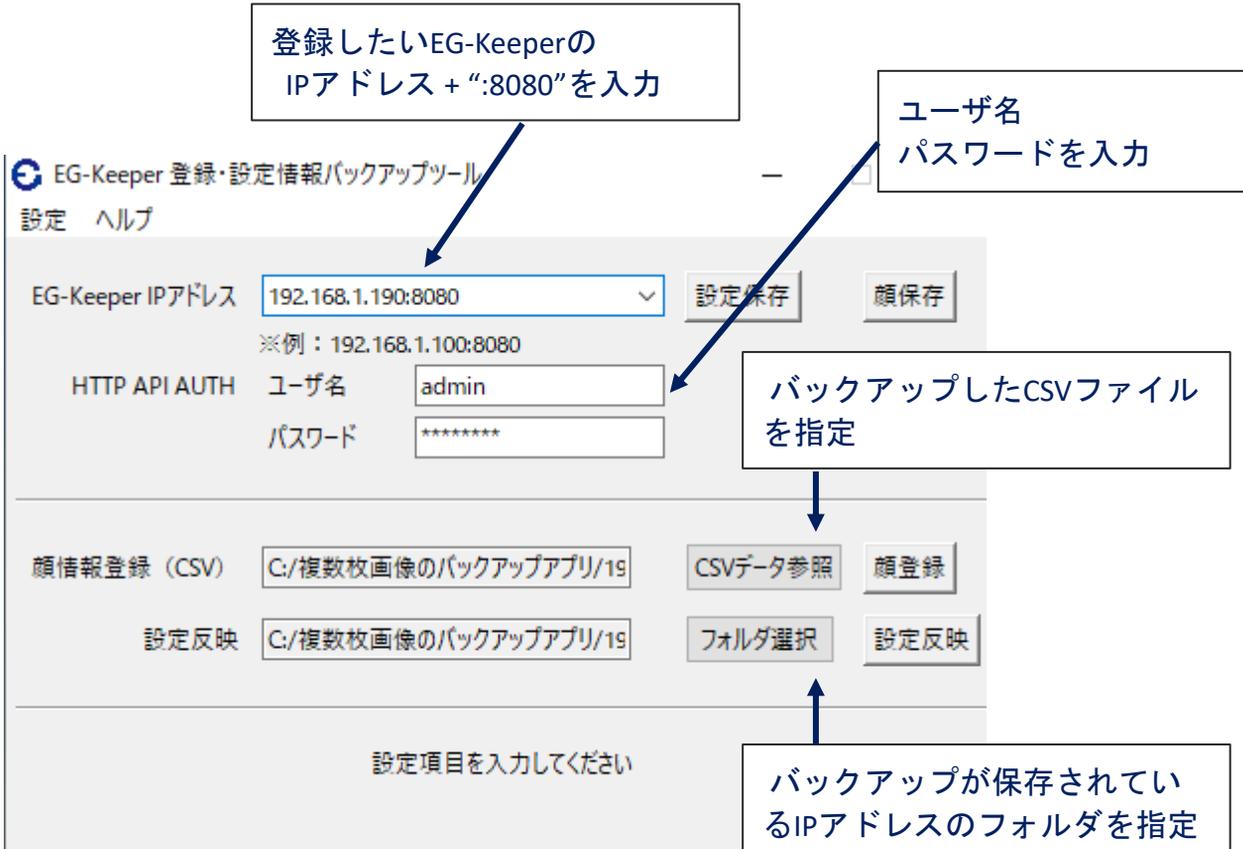
a12345_Wds003_0.jpg
a12345_Wds003_1.jpg
a12345_Wds003_2.jpg



e) 顔データのCSVと写真の準備が完了したら、顔登録を実行してください。

5. バックアップツールの応用

5-2. 保存した設定・顔登録データを他のEG-Keeperに登録します。



The screenshot shows the 'EG-Keeper 登録・設定情報バックアップツール' interface. It includes fields for 'EG-Keeper IPアドレス' (192.168.1.190:8080), 'HTTP API AUTH' (username: admin, password: *****), and '顔情報登録 (CSV)' (path: C:/複数枚画像のバックアップアプリ/19). Buttons for '設定保存', '顔保存', 'CSVデータ参照', '顔登録', 'フォルダ選択', and '設定反映' are visible. Annotations with arrows point to these fields and buttons, providing instructions in Japanese.

登録したいEG-Keeperの
IPアドレス + “:8080”を入力

ユーザ名
パスワードを入力

バックアップしたCSVファイル
を指定

バックアップが保存されてい
るIPアドレスのフォルダを指定

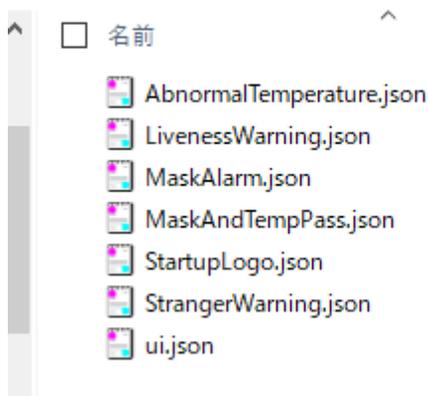
設定項目を入力してください

【補足資料】

■ Dataフォルダー

下記のように設定データが保存されます。

<< 192-168-1-55_8080 > data



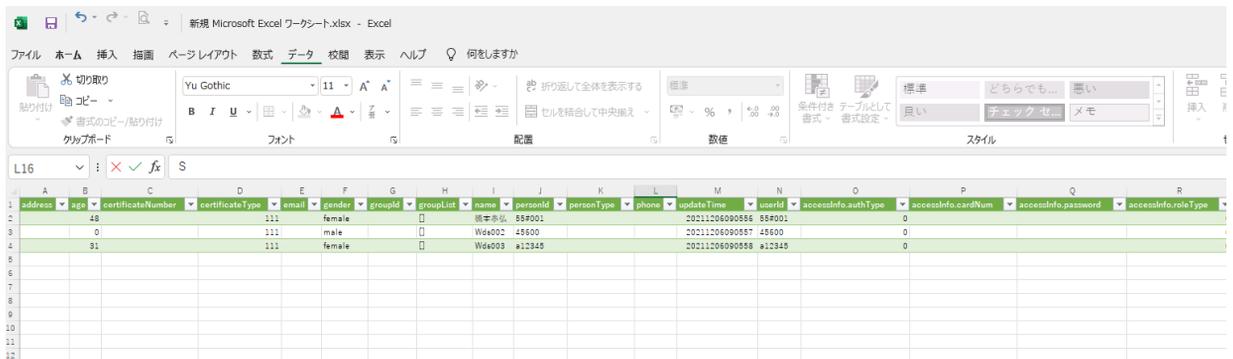
保存される項目

温度測定NGシーン・ライブネスNGシーン・マスクNGシーン・許可シーン・未登録者検知シーンの各画像、および音声
 パネル設定 IPアドレス表示、Mac会アドレス表示などの各表示項目、言語、音声の性別音量、LEDモード、ディスプレイモード、マスクモード、UIスタイルなど

注) Http upload設定は、保存されません。

■ facesファイル

下記のように顔写真データが保存されます。

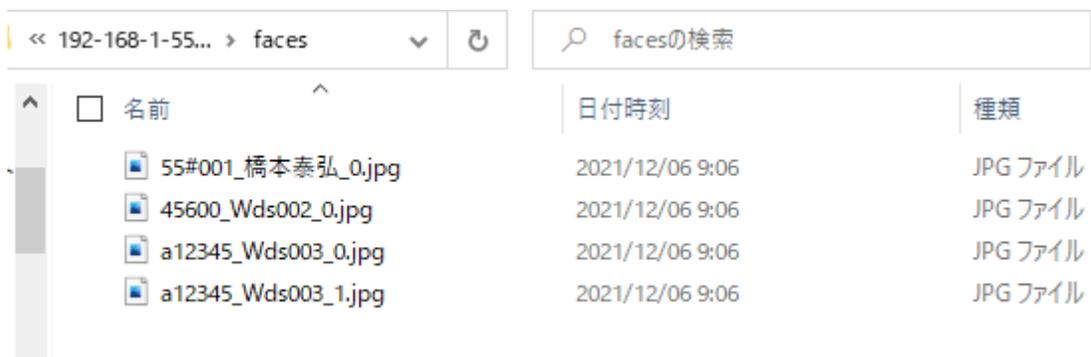


■ Facesフォルダー

下記の顔写真が保存されます。

ファイル名：“userid” + “_” + “name” + “_” + “0 or 1 or 2”
 1 useridに対して、3枚までの写真が保存されます。

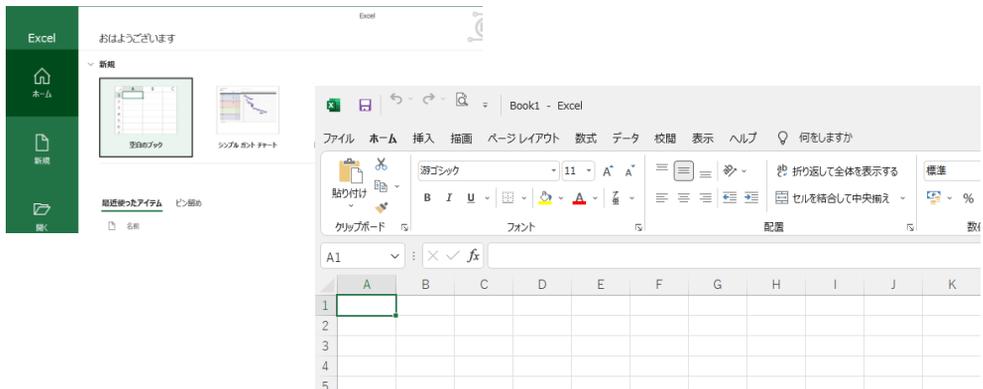
cf. a12345_Wds003_0.jpg
 a12345_Wds003_1.jpg



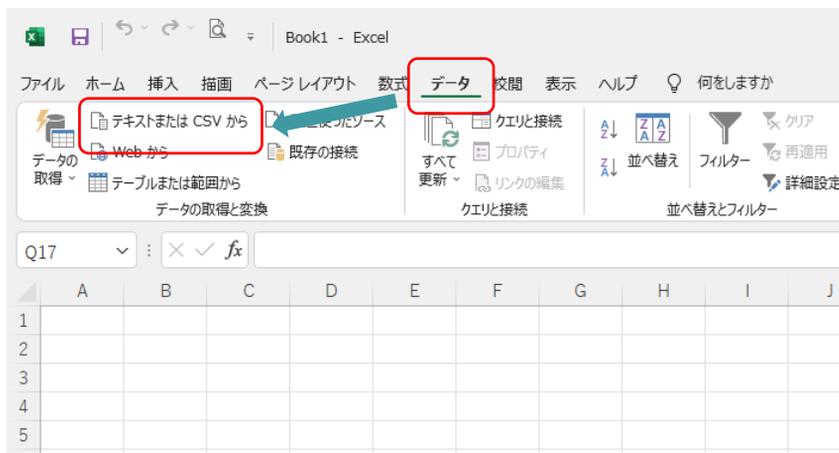
■ CSVファイルについて

注) facesファイルは、CSVファイルになりますので、普通にExcelでオープンすると文字化けしたりします。下記の手順で、CSVファイルの取り込みを行ってください。

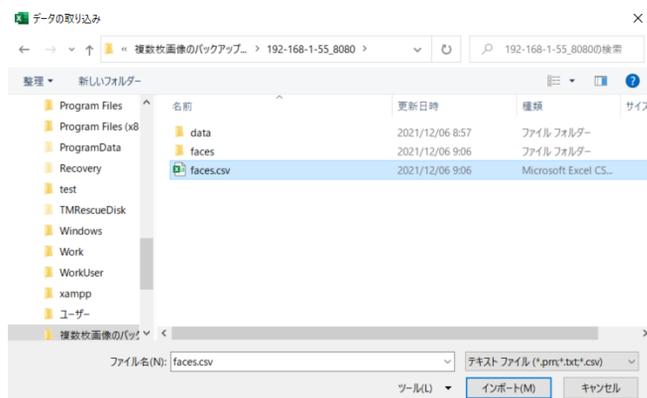
a) Excelを新規でオープンします。



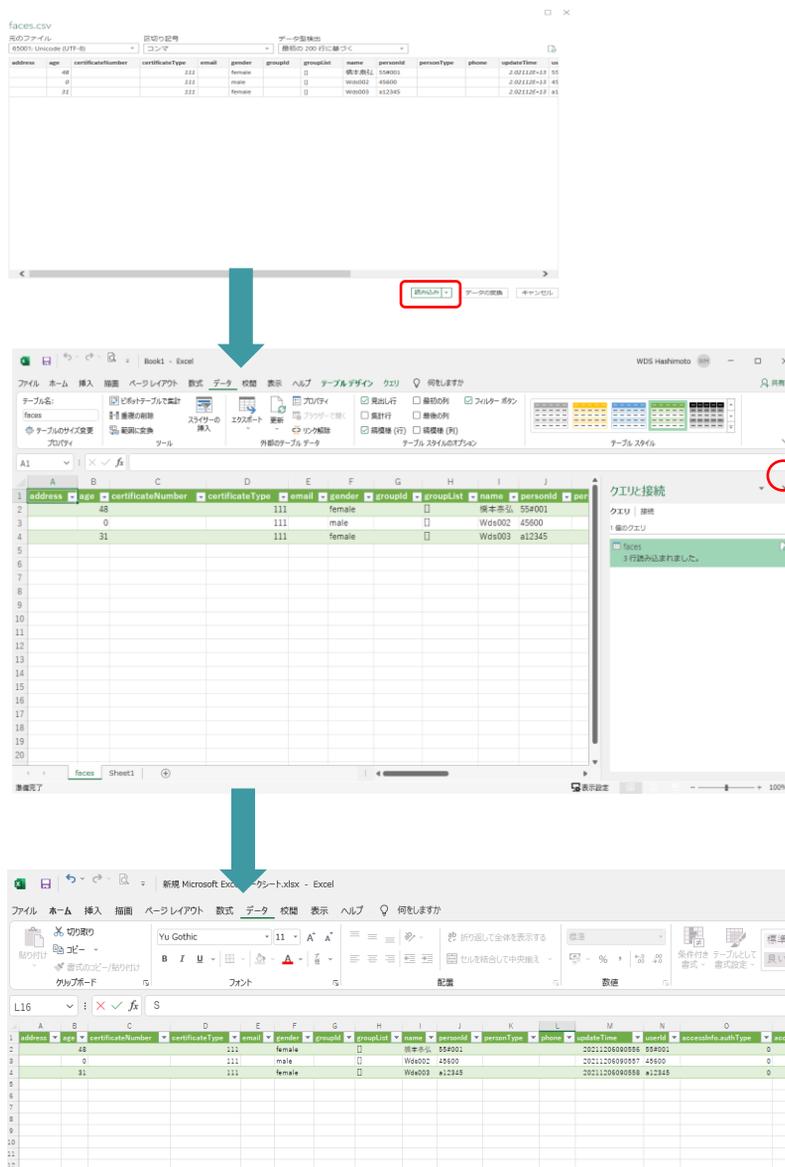
b) 『Data』 タグを選択し 『テキストまたは、CSVから』 を選択します。



c) 『faces.csv』 ファイルを選択して 『インポート』 を行います。



d) 『読み込み』を行います。



e) データを保存する場合は、『ファイル』より『名前を付けて保存』でファイルの種類『CSV UTF-8(コンマ区切り)(*.csv)』を選択して保存します。

